

.....

全学ポートフォリオ通信

http://www.nara-edu.ac.jp/students/portfolio_top.html

.....vol.013 ... 2016.7

こんにちは、全学ポートフォリオサポートデスクです。

今月発行された「ならやま」に
全学ポートフォリオシステムについての記事を
掲載していただきました。

「 いつも課題を提出するときに使っているけれども
社会的にどのような意義があるのだろうか? 」

という疑問にお答えする形で書いてみました。

本学ホームページでもリンクが貼られておりますので、
ぜひご一読ください。

<http://www.nara-edu.ac.jp/guide/bulletin/narayama/>

このシステムの一番の強みは
課題を提出するだけではなくて、

頑張って提出した課題を活かして
次の目標を模索する

ということを助ける機能が備わっているという点です。

そのような機能を上手に使いながら

課題を提出する時に投資した労力から得られるものが
2倍にも3倍にもなるように
普段の学びを 「次に活かせるもの」 にしてみませんか？

単純に、課題を提出するというだけでも
かなりの労力をかけてこられたと思いますが、
ただ蓄積するだけではもったいないですよ。

目次

◆ 学生のみなさんへ

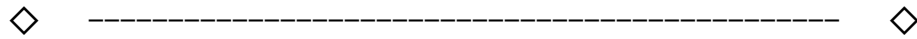
- ・ ぜひトライしてみてください！
 - － 前期の学習をふりかえって後期の目標をたててみよう

◆ 先生がたへ

- ・ 後期の授業でのシステムのご利用について
ご相談を承ります。
- ・ <文献紹介>
学生さんは自分のポートフォリオをどのように内省すればよいのか
「学生の学びを測る アセスメント・ガイドブック」

◆ すべてのかたへ

- ・ 「ならやま」に記事が掲載されました。
- ・ ご相談の連絡先はこちらです。

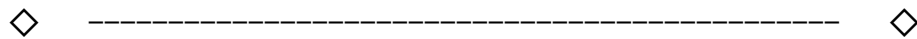


学生のみなさんへ

ぜひトライしてみてください！

- 前期の学習をふりかえって後期の目標をたててみよう

<http://www.nara-edu.ac.jp/files/matome-portfolio2016.pdf>



学生のみなさん、

前期の授業は充実した時間でしたでしょうか？

授業を終えると、半期の振り返りをする時間が
できますね。

最も重要なことは、次につなぐ目標を
浮き彫りにすることだと思います。

たとえば、

「今期の授業では、まだまだ知識の理解が不足していた。」

という記述になると、何の知識を補えばよいのかが

わかりませんが、

「**の授業で触れた〇〇という専門用語について
十分理解していない状態だった」

と記述すると、〇〇という専門用語を調べるという
行動に移しやすくなりますね。

このように、
今後の学習をさらに充実させるにあたって必要な
次の行動が生じやすい目標を記録しておきませんか？

関心がある人は、ぜひ前期のふりかえりに
トライしてみてください。

▼ 全学ポートフォリオシステムを用いた
ふりかえりの方法は、以下を参考にしてください。
<http://www.nara-edu.ac.jp/files/matome-portfolio2016.pdf>

・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・

◇ ----- ◇

先生がたへ 1

後期の授業でのシステムのご利用についてご相談を承ります。

◇ ----- ◇

学生さんが半期の学習の振り返りをしている間、
先生方は評価を通して半期の授業を振り返り、
「次はこうしたい！」というアイデアを

育てていらっしゃるのではないのでしょうか。

「 後期はシステムを利用して
学生さんが学習管理できるようにしたい 」

「 システムを利用して提出物をスッキリ管理したい 」

「 システムを利用して+αの学習ができるようにしたい 」

「 時間や空間に縛られず、
学生さん同士の学び合いによって思考を深めたい 」

システムを用いることで
先生のアイデアの実現をお手伝いできるようでしたら
ぜひお気軽にお声がけくださいませ。

また、後期の早期履修者登録をお考えの場合も
ご相談ください。

(登録手順等についてご説明させていただきます)

◇ ----- ◇

先生がたへ 2

<文献紹介>

学生さんは自分のポートフォリオを
どのように内省すればよいのか

「学生の学びを測る アセスメント・ガイドブック」

◇ ----- ◇

メールマガジンの冒頭でもご紹介しましたように、
本学のポートフォリオシステムは

頑張って提出した課題を活かして
次の目標を模索する

ということを助ける機能を備えております。

設定した課題に取り組むにつれて
学生さんの学びの質が徐々に深まっていくよう
出題されていると思いますが、
たとえば授業アンケートや感想などで

「とても参考になった」
「有意義だった」

としか書かれなかった
というご経験はないでしょうか。

これは、ともすれば

「勉強は言われた通りに頑張ったけれども
なんのために頑張ったのかは説明できない」

ということを学生さんが感じているサインでもあると
いえるかもしれません。

このような場合は、
その課題に取り組んだ意味を
学生さん自身が模索する必要があるかもしれません。

では、どのような視点から
学習の意味を探っていくとよいのか、、、

ということについて、
いくつかヒントを提示しているのが

リンダ・サスキー【著】

齋藤聖子【訳】

「学生の学びを測る アセスメント・ガイドブック」

玉川大学出版部

です。

この本の中には、たとえば

「学生は自分のポートフォリオをどのように内省すればよいのか」

というタイトルで、7つの視点を例示しています。

そのうちのいくつかを抜粋します。

+++++

- ・自分の成果物の中で最も重要なのはどれか。それはなぜか。
- ・このポートフォリオは、この専門領域における新人の専門家または学者としての自分について何を語っているか。
- ・この専門領域を引き続き学ぶにあたっての目標は何か。

(pp. 202-203 より一部抜粋)

+++++

最終課題の感想において、
もっと読み応えのある授業の振り返りを書いてもらえるようにしたい！
という場合は、ご参考になるかもしれません。

・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・*☆*・ ・

◇ ----- ◇

すべてのかたへ 1

「ならやま」に記事が掲載されました。

◇ ----- ◇

冒頭でもご紹介しましたが、

広報誌「ならやま」で
全学ポートフォリオシステムについての紹介記事を
掲載していただきました。

ぜひ、ご一読くださいませ。

<http://www.nara-edu.ac.jp/guide/bulletin/narayama/>

◇ ----- ◇

すべてのかたへ 2

ご相談の連絡先はこちらです

◇ ----- ◇

全学ポートフォリオサポートデスク専用アドレスは、

「全学ポートフォリオシステムを使ってみたい。」

「私のゼミで使う場合、どんな機能が便利？」

「課外活動の記録を残して、次年度の後輩にも
見せてあげたい。」

「そもそもどのようなことができるのでしょうか？
説明しにきてくれませんか？」

「このような場合はどうしたらよいのでしょうか？」

などなど、ご相談いただける窓口です。

お気軽にご連絡くださいませ。

▼ 全学ポートフォリオサポートデスク専用アドレス

< dpfsupport@nara-edu.ac.jp >

★ つぎのフォームをメール本文にコピーして
御相談内容を編集してお送りください。

===== メールフォーム =====

== メール本文にコピー&ペーストしてご利用ください ==

お名前 ()

所 属 ()

学籍番号 ()

ご連絡先 ()

お問い合わせの概要
()

※ 要望、質問、システムの不具合の報告、相談等ご自由にご記入ください。

▼ システムの不具合の報告の場合、
上記にプラスして以下の情報も
添えてお送りください。

ご利用機器の種類 例：スマートフォン
()

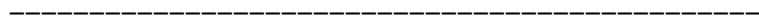
OS 例：Windows8, MacOSX, Android5 等
()

ブラウザのバージョン 例：InternetExplorer11, GoogleChrome 等
()

問題が生じたメニューのタイトル
例：「ポートフォリオを見る」等
()

操作上の問題が生じた受講科目名
例： ～概論
()

===== メールフォーム終わり =====



発行責任：教育情報システム運用検討部会
全学ポートフォリオシステム運用開発検討チーム
（座長：宮下俊也）
編集責任：全学ポートフォリオサポートデスク
（担当：次世代教員養成センター・望月紫帆）